

きく組

— 年間目標 —

- ◎ 友だちと考えを出し合い、気持ちをコントロールしながら、協力して遊びや活動を作り出すことを楽しみ、最後までやり遂げる達成感や充実感を味わう
- ◎ 社会生活に必要な力を身につけ、積極的に関わりながら、園生活を楽しむ

— 1学期の目標 —

- ◎ 年長組になった喜びと自覚を持ち、園生活のきまりを守りながら、友だちと楽しく遊ぶ
- ◎ 自分の思いや考えを言葉で表現し、相手の気持ちにも気づいていく。

— 活動内容 —

だいずから♪

(自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、

社会生活との関わり、言葉による伝えあい)

- ・ 絵本の読み聞かせで、枝豆から大豆になることを知り、さらに他の絵本を通して大豆からいろいろな食べ物ができることを知り、話し合いで、味噌を作ってみることになる。
- ・ 子どもたちと買い出しに麴屋さんに出かける。10号線を通ることになるので、交通ルールの確認をする。
- ・ 大豆の形の変化を見て、触ってみる。水の中に浸ししばらくすると知っている形の大豆になることに驚く姿があった。
- ・ 給食で大豆料理ができて、買い物にいった大豆と同じであることを知り、いつもはあまり口にしない子どもが食べる姿があった。
- ・ 絵本を数冊準備したり、作り方のレシピを貼り作り方を確認する。
- ・ 実際に豆を潰すと「やわらかい」と口々に話していて、感触を楽しんでいた。
- ・ 味噌玉を作る時は、大きさを比べたり、形を見せ合う姿があった。味噌の塊は強く握り込むと崩れてしまうようで、握り方を教える姿もみられた。
- ・ チームごとに袋に入れ、しばらく暗いところにことを伝え、みんなで「おいしくなれ！」の魔法の言葉をかけた。
- ・ 宿泊保育時に作った味噌で味噌を作り、おいしく頂く。「おいしいね」とみんな完食していた。



おもいたのしみだね！

(健康な心と体、自立心、協同性、思考力の芽生え、社会生活との関わり

言葉による伝え合い、道徳性・規範意識の芽生え、

数量・図形文字などへの関心・感覚、豊かな感性と表現)

- ・ 6月の下旬、1学期の最後の日に宿泊保育があることを子どもたちに伝え、子どもたちとさまざまな形(グループごと、クラス全体、個別)で話し合いを重ねた。話し合いの内容は、朝食、夕食のメニュー決め。お買い物ごっこをするにあたり、なにが必要か、準備物など意見がでて、準備を進めた。
- ・ グループの中では、それぞれが一つずつ意見を書いていくグループや一人が取りまとめて書いたり、ひらがな表を使ったり友だちに尋ねながら書く姿があった。発表では、緊張した様子も見られる子もいたが、グループごとに発表することができた。
- ・ キャンプファイヤーに向けて、張り子で手作りランタンを作る。どんなふうになるか期待を膨らませながら仕上げていった。
- ・ 2階ホールの掃除では、雑巾の掛け方を確認した後、拭き上げをした。その後、自分たちで作った梅ジュースを飲み、「かんぱーい」の声が聞こえ、おいしく飲めた。
- ・ はさみやのり等道具の使い方を確認しながら、財布やバック作りなどをした。切り紙では、切った折り紙を広げるたびに歓声があがり、いろいろな形を見立てる子どももいた。
- ・ 宿泊保育前の気持ちを一人ずつインタビューし、気持ちを言葉で表現することができ、一人ひとりに寄り添いながら、当日に向けての流れなど話しをする時間を作った。
- ・ クッキングをするにあたり、保護者の方にも包丁やピーラーを自宅でも使ってみることをお願いし、協力していただく。



— 1学期の反省 —

- ・ 6月から少しずつ取り組み始めたこともあり、子どもたちと話し合いを積み重ね、宿泊保育を迎えることができた。やってみたいことや作ってみたいことなどいろいろな意見が活発にでて、進めていくことができた。
- ・ 暑さで1学期後半は、室内で過ごすことが多かったが、宿泊保育に向け、歌やダンス、食育活動、製作活動などさまざまな取り組みを行うことができた。製作活動では、はさみやのりなど、道具の使い方を再確認したり、作ったものが遊びへと発展したりもした。
- ・ 気持ちを言葉で表現できるようにさまざまな場面で質問する機会を作った。2学期以降も取り組んでいきたい。

— 2学期の目標 —

- ◎ 自分の考えや思いを相手に伝え、友だちと意見を出し合いながら、活動をすすめていく
- ◎ 様々な活動に意欲的に取り組み、苦手なことや困難なことにも挑戦する気持ちを養う